

第121回景況調査報告書 (2022年4月～6月期)

「先行きが見えず、ジリ貧に。」

あらゆるものを刷新するというイノベーションが求められている。」

〔概況〕

2022年4月～6月期は、利益DIがさらに悪化しました。その他の指標は前回調査から改善を示しましたが、景況感DI、次期予想DIとも「良い」ではなく、「悪い」が改善するという下げ止まり回復を示し、景況感は低水準横ばいで推移しており、回復が遅れている。売上高DIは前回の調査から横ばいでプラス域ですが、利益DIは前回の▲10.8から3.6ポイント悪化し▲14.4となり、仕入れの上昇、高騰という経営上の問題点が顕著に現れています。

業種別の動向では、ほとんど全ての業種の利益DIが悪化しました。特に建設業（土木）では売上高DIや新規受注DIなどもプラス域からマイナス域へ悪変しました。景況感DIもマイナス域が目立ちますが、次期予想DIはプラス域を示す業種が多くなりました。

経営上の問題点は、「仕入単価上昇」が上昇し最も多い問題点となりました。「原材料の高騰」と並んでトップの問題点となっています。コロナ禍で上位に上がっていた「民間需要の停滞」は減少傾向にあり、経営課題の入れ替わりが顕著になっています。

特別項目では“新卒採用”“夏の賞与”“賃上げ”“インボイス”の4項目について調査を行い、新卒採用は、採用する企業の割合及び採用人数ともに前年同期よりも減少しました。夏の賞与は、支給する企業の割合は前年同期よりも減少しましたが、「支給する」と回答した企業の支給基準は高くなりました。インボイスの影響については、およそ4割の企業が「事務作業の煩雑化」を主な影響として考えています。しかし「わからない」と回答した企業も3割にもなりました。

経営指針書に関する調査では、指針書の作成と景況感のクロス分析で「作成し実践している」企業の景況感DIはプラス域となり、その他の回答者はマイナス域となりました。

今回調査では、ある程度売上げはあるものの利益を出しにくい状況であることが現れています。コロナの影響、続く円安、ロシア・ウクライナ情勢の影響などにより、原材料を含めあらゆるものの価格がいつまで上がるのか、どこまで上がるのか、先行きが見通せません。自社の課題を把握し、今こそ、原材料そのものも含め、業務内容などあらゆるものを変えてみる、新たなものを取り入れるなど、イノベーションが求められています。

〔調査要領〕

調査時 2022年6月1日～2022年6月24日

対象企業 (一社)福岡県中小企業家同友会 全会員企業2,187社(6月1日時点)

調査の方法 会員専用サイト(一部FAX)にて配信、自計記入

回答数 259社の回答(回答率11.8%)

(製造業36社、建設業48社、商業流通業28社、サービス業147社)

〔回答企業の概要〕

企業規模（従業員数）

0～10名以下 169社、11名～20名以下 31社、21名～50名以下 34社
51名～100名以下 14社、100名以上 11社

企業の所在地 福岡地区 165社、北九州地区 40社、筑豊地区 32社、県南地区 18社、
県外 4社

4.所属支部		(S A)								
No.	カテゴリ	件数	(除不)%	(全体)%	所属会員数	会員 構成比	回収率	回収数 ランキング	回収率 ランキン グ	回答比- 構成比差分
1	東支部	18	6.9	7	224	10.2%	8.0%	6	16	(3.3)
2	福博支部	4	1.5	1.6	82	3.7%	4.9%	20	21	(2.2)
3	博多支部	23	8.9	8.9	188	8.6%	12.2%	1	9	0.3
4	中央支部	11	4.2	4.3	115	5.2%	9.6%	11	14	(1.0)
5	西支部	9	3.5	3.5	119	5.4%	7.6%	12	17	(1.9)
6	南支部	20	7.7	7.8	168	7.7%	11.9%	3	10	0.0
7	筑紫支部	7	2.7	2.7	66	3.0%	10.6%	15	11	(0.3)
8	福友愛支部	8	3.1	3.1	206	9.4%	3.9%	14	22	(6.3)
9	福友和支部	16	6.2	6.2	187	8.5%	8.6%	7	15	(2.3)
10	青年支部	14	5.4	5.4	54	2.5%	25.9%	8	2	2.9
11	玄海支部	7	2.7	2.7	117	5.3%	6.0%	15	20	(2.6)
12	かすや支部	9	3.5	3.5	45	2.1%	20.0%	12	6	1.4
13	糸島支部	22	8.5	8.6	55	2.5%	40.0%	2	1	6.0
14	北九州支部	19	7.3	7.4	137	6.2%	13.9%	4	8	1.1
15	ひびき支部	19	7.3	7.4	81	3.7%	23.5%	4	4	3.6
16	のおがた支部	13	5	5.1	60	2.7%	21.7%	10	5	2.3
17	飯塚支部	14	5.4	5.4	59	2.7%	23.7%	8	3	2.7
18	田川支部	7	2.7	2.7	35	1.6%	20.0%	15	6	1.1
19	久留米支部	7	2.7	2.7	69	3.1%	10.1%	15	12	(0.4)
20	大牟田支部	5	1.9	1.9	69	3.1%	7.2%	19	19	(1.2)
21	有明支部	3	1.2	1.2	30	1.4%	10.0%	21	13	(0.2)
22	りょうちく支部	2	0.8	0.8	27	1.2%	7.4%	22	18	(0.4)
	不明	2	0.8							
	サンプル数 (%へ-ス)	259	100	257	2193		11.8%			

【アドバイザーコメント 九州国際大学現代ビジネス学部教授 三輪 仁】

景況調査分析会議にてアドバイザーを務めております九州国際大学の三輪仁と申します。今回より当コラムを担当させていただきます。

福岡同友会の実施する景況調査は今回で 121 回目となります。ご存知の方が多くかと思いますが、景況調査においては景況感・売上高・利益・新規受注・次期予測の現況についての質問が定期的（四半期ごと）繰り返されます。回答結果は各項目における「よい」と答えた回答比率から「わるい」と答えた比率を差し引くことで DI 値とよばれる指標へと変換され、項目間あるいは業種・地域ごとの比較や、過去のデータとの照合による時系列的傾向といった多様な分析が容易に行えるようになるのです。景況調査にはこの他にも時機に応じた質問項目や自由回答項目も設定され、集計分析結果から様々な情報を得ることができます。

中小企業を対象とした景況調査については、中小企業家同友会全国協議会(中同協)でも、会員を対象とした景況調査を四半期ごとに行っています。さらに中小企業庁と中小企業基盤整備機構が実施する『中小企業景況調査』をはじめとして、日本政策金融公庫、各商工団体や一部自治体などにおいても行われています。

このように数多くの“景況調査”が存在するわけですが、そのなかにあつて福岡同友会の景況調査は会員のみなさまにとっても一番身近な調査であり、一方でみなさまのご協力によって成り立ち、意義を持つものです。

そこで、この場をお借りして、会員のみなさまに 2 つのお願いをさせていただけないでしょうか。

第一に、継続的な回答への参加のお願いです。回答を重ねることで自社の現況に対する判断も精度を増し、それとともに自社の状況からマクロな環境を読む力も醸成されると考えます。そうなれば景況調査の分析結果からより多くのことを摂取できるようになるでしょう。また、福岡同友会といたしましても、回答が増えることにより業種別、地域別などの下位カテゴリーにおいて、より精度の高い分析データを提供できることに繋がります。

第二に、回答された方々はその集計分析結果をもとに振り返りをしっかり行ってください。。

調査結果には経営上の課題解決あるいは新規事業や市場開拓のヒントとなる、あるいは今後の不透明な環境に明かりを照らす有益な情報が散らばっています。

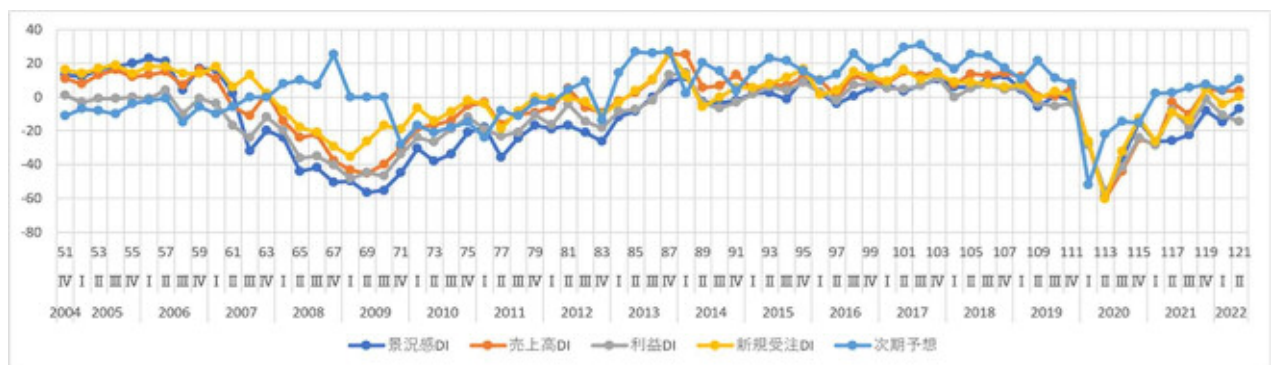
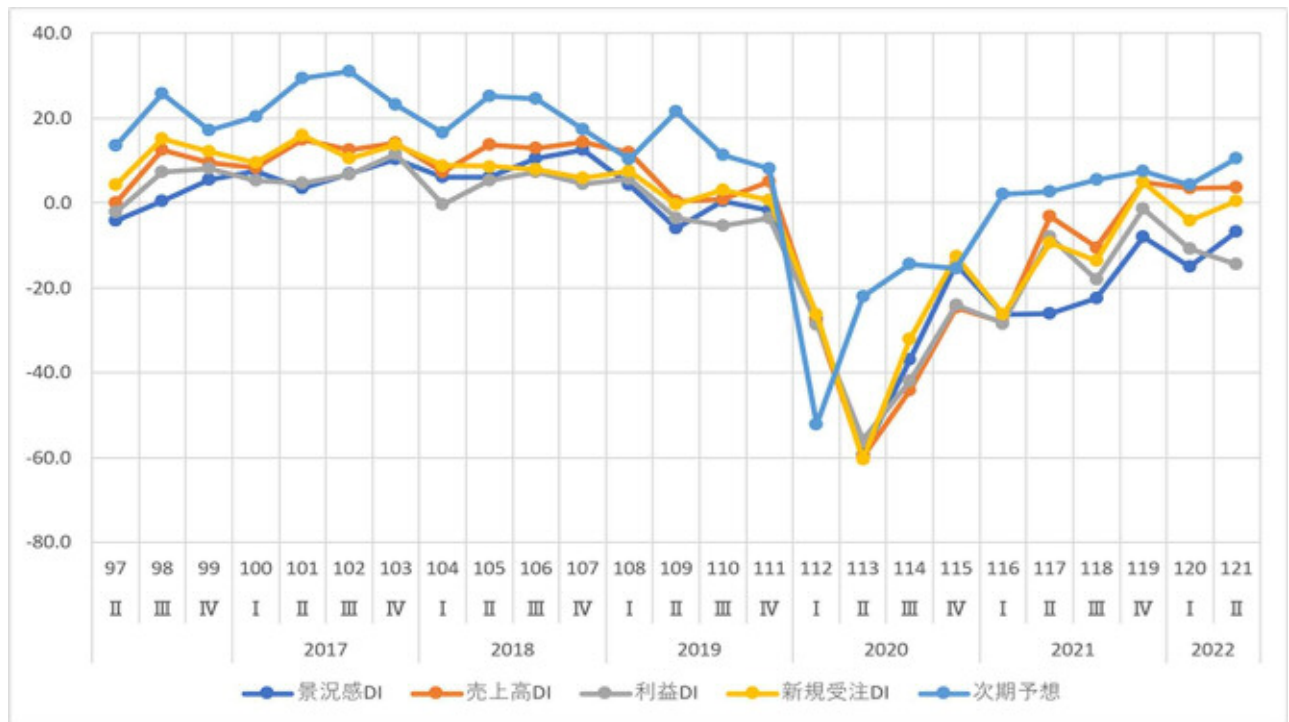
そして、振り返りにあたっては、会員同士で調査結果について意見を交わしたり、事務局や私たち分析会議メンバーに質問を投げかけていただくなど、ぜひとも"自家製"の調査の特長、そして福岡同友会のネットワークを大いに活かしてもらえたらと願います。

【全体的な特徴】

- 景況感改善するもマイナス域。回復が遅れている。

景況感DIは改善しましたがマイナス域を推移しています。売上高DIは横ばいですが利益DIは3.6ポイント悪化し、利益が出にくい状況であることが現れています。

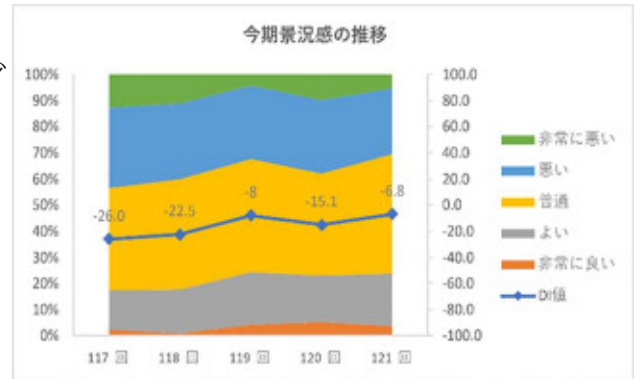
項目	第121回	前回からの変動幅
景況感DI	▲6.8	8.3
売上高DI	3.6	0.1
利益DI	▲14.4	▲3.6
新規受注DI	0.4	4.6
次期予想DI	10.5	6.3



■ 今期景況感 DI

5.今期景況判断		第120回	DI値	-15.1	第121回	DI値	-6.8	+8.3
No.	カテゴリ	件数	(除不)%		件数	(除不)%	増減	
1	非常に良い	13	5.1	23	9	3.6	-1.5	+0.8
2	よい	46	17.9		51	20.2	+2.3	
3	普通	100	38.9	38.9	115	45.6	+6.7	
4	悪い	73	28.4	38.1	64	25.4	-3.0	-7.5
5	非常に悪い	25	9.7		13	5.2	-4.5	
	不明	7			7			
	サンプル数 (%ベース)	264	257		259	252	-5	

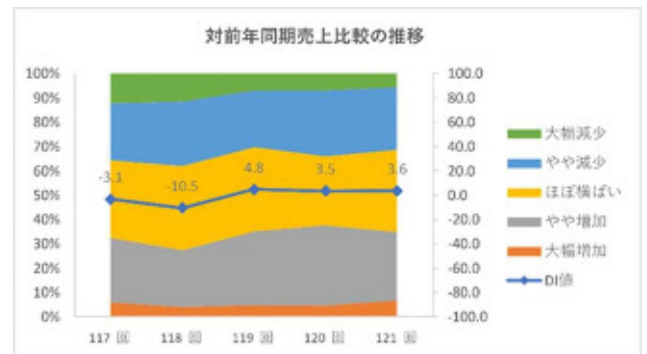
景況感 DI は改善し、右図を見ると景況感 DI は改善傾向にあるようですが、その内容を見ると、「悪い」側が減少し「普通」が増加しています。「良い」という回答は変わらずまだ回復基調ではないようです。



■ 売上高 DI

6.対前年同期売上高比較		第120回	DI値	3.5	第121回	DI値	3.6	+0.1
No.	カテゴリ	件数	(除不)%		件数	(除不)%	増減	
1	大幅増加	12	4.7	37.6	17	6.7	+2.0	-2.8
2	やや増加	85	32.9		71	28.1	-4.8	
3	ほぼ横ばい	73	28.3	28.3	86	34	+5.7	
4	やや減少	70	27.1	34.1	65	25.7	-1.4	-2.9
5	大幅減少	18	7		14	5.5	-1.5	
	不明	6			6			
	サンプル数 (%ベース)	264	258		259	253	-5	

売上高 DI は横ばいとなりました。「増加」と「減少」の回答率が減少し「横ばい」が増加しています。右図を見ると「大幅減少」は減少傾向にあり、横ばいが増加しています。



■ 利益 DI

7.対前年同期利益比較		第120回	DI値	-10.8	第121回	DI値	-14.4	-3.6
No.	カテゴリ	件数	(除不)%		件数	(除不)%	増減	
1	大幅増加	10	3.8	29.2	14	5.6	+1.8	-3.3
2	やや増加	66	25.4		51	20.3	-5.1	
3	ほぼ横ばい	80	30.8	30.8	85	33.9	+3.1	
4	やや減少	83	31.9	40	85	33.9	+2.0	+0.3
5	大幅減少	21	8.1		16	6.4	-1.7	
	不明	4			8			
	サンプル数 (%ベース)	264	260		259	251	-9	

利益 DI 値は、2期連続で悪化し▲14.4となりました。要因として経営上の問題点に関する調査で「仕入単価上昇」「原材料の高騰」が顕著に現れたことが考えられます。

■ 新規受注 DI

8.対直近期新規受注比較		第120回	DI値	-4.2	第121回	DI値	0.4	+4.6
No.	カテゴリ	件数	(除不)%		件数	(除不)%	増減	
1	大幅増加	6	2.3	28	6	2.4	+0.1	+1.4
2	やや増加	66	25.7		68	27	+1.3	
3	ほぼ横ばい	102	39.7	39.7	105	41.7	+2.0	
4	やや減少	69	26.8		59	23.4	-3.4	-3.2
5	大幅減少	14	5.4	32.2	14	5.6	+0.2	
	不明	7			7			
	サンプル数 (%ベース)	264	257		259	252	-5	

新規受注 DI 値は、4.6 ポイント改善しプラス域へ好転しました。経営上の問題点を見ると「民間需要の停滞」は減少しています。自由回答項目を見ると「現場が動き始めた」「建設需要」「営業活動による利用者の増加」など、業界ごとに需要の動きが出ています。

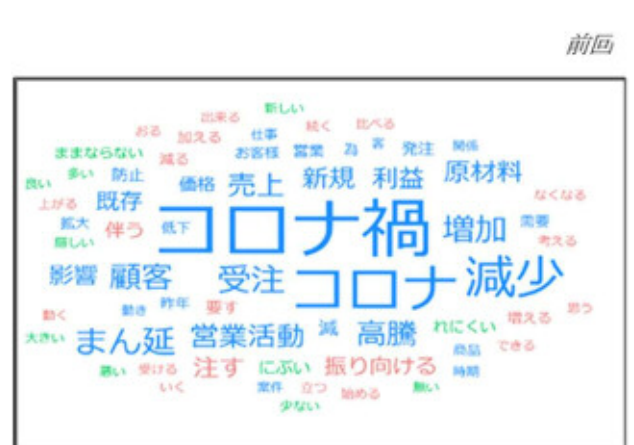
■ 次期予想 DI

10.次期業況予想		第120回	DI値	4.2	第121回	DI値	10.5	+6.3
No.	カテゴリ	件数	(除不)%		件数	(除不)%	増減	
1	非常によくなる	6	2.3	27.1	8	3.1	+0.8	+0.9
2	よくなる	64	24.8		64	24.9	+0.1	
3	現在と変わらない	129	50	50	140	54.5	+4.5	
4	悪くなる	55	21.3	22.9	42	16.3	-5.0	-5.4
5	非常に悪くなる	4	1.6		3	1.2	-0.4	
	不明	6			2			
	サンプル数 (%ベース)	264	258		259	257	-1	

次期予想 DI 値は、前回より 6.3 ポイント上昇し 10.5 と二桁になりました。内訳を見ると「悪くなる」が減少し「現在と変わらない」が上昇しています。

長期的に指標の動きを見るとコロナ禍の経済は 2021 年から横ばい傾向ができてつあります。コロナ前の水準と比べると低い値を推移しています。

今期景況理由



※ユーザーローカル テキストマイニングツール (<https://textmining.userlocal.jp/>) によるスコア分析

【業種・従業員規模・地域別の特徴】

業種別の動向

ほとんどの業種の利益DIが減少しています。建設業（土木）の悪化が目立ちますが、次期予想DIは改善しています。サービス業（対個人）は好転が目立ちます。次期予想DIはほとんどの業種がプラス域となっています。

	第121回	景況件数	景況DI	売上DI	利益DI	受注DI	次期予想DI	件単位
	クロス回答数		252(-3)	253(-3)	251(-7)	252(-3)	257(1)	
	全体	259	-6.7(8.5)	3.6(0)	-14.3(-3.1)	0.4(4.3)	10.5(6.2)	0.4
業 種	製造業（生産財）	19	5.3(-3.1)	10.5(-8.7)	-21.1(-13.4)	-26.3(-34)	15.8(23.5)	5.3
	製造業（消費財）	17	-47.1(-4.2)	-17.6(-8.1)	-68.8(-40.2)	-5.9(8.4)	11.8(-2.5)	5.9
	建設業（建築）	32	-3.1(-19.8)	3.1(-2.4)	-21.9(-4.2)	6.3(-4.9)	12.5(18.1)	3.1
	建設業（土木）	4	0(-16.7)	-33.3(-66.7)	-33.3(-33.3)	-100(-116.7)	0(33.3)	25.0
	建設業（設備）	12	0(0)	0(0)	-25(-11.7)	16.7(10)	16.7(16.7)	8.3
	商業・流通業	28	-25.9(14.1)	-18.5(-24.2)	-39.3(-16.4)	-10.7(-7.8)	-3.6(2.1)	3.6
	サービス業（対事業所）	82	0(2.6)	1.3(-12.7)	-5.1(-13.8)	-2.4(-5)	12.2(4.4)	1.2
	サービス業（対個人）	65	-3.2(31.3)	22.2(40.1)	8.1(33.9)	18.6(43.6)	10.9(-4.6)	1.5

○ 従業員規模別の動向

規模別動向を見ると、景況DIはほとんどの業種で改善しています。特に0～5名規模の企業ではすべての指標が改善しています。しかし6～20名規模の企業では悪化が目立ちます。100名以上の規模の企業は悪化が目立ちますが高い値を推移しており、次期予想DIはもっとも高くなっています。

	第121回	景況件数	景況DI	売上DI	利益DI	受注DI	次期予想DI	件単位
	クロス回答数		252(-4)	253(-4)	251(-8)	252(-4)	257(0)	
	全体	259	-6.7(8.1)	3.6(-0.3)	-14.3(-3.5)	0.4(4.3)	10.5(6.2)	0.4
従 業 員 規 模	0名～5名	113	-5.5(8.4)	3.6(7.9)	-10.9(6.1)	10.9(23.7)	14.4(7.9)	0.9
	6名～10名	56	-12.5(2.7)	0(-4.4)	-18.2(-16)	-21.8(-13.1)	-3.6(-8.1)	1.8
	11名～20名	31	-3.3(27.4)	-6.5(-11.5)	-9.7(-4.7)	3.2(-17.8)	12.9(-2.1)	3.2
	21名～30名	18	0(21.7)	16.7(29.7)	0(34.8)	-17.6(-0.3)	22.2(22.2)	5.6
	31名～50名	16	-25(-25)	-6.3(-25.3)	-43.8(-39)	-6.3(-6.3)	0(19)	6.3
	51名～100名	14	-21.4(10.4)	14.3(-3.9)	-46.2(-28)	14.3(19)	14.3(14.3)	7.1
	100名以上	11	50(0)	37.5(-1)	22.2(-8.5)	22.2(-0.9)	27.3(20.6)	9.1

○ 本社地区別の動向

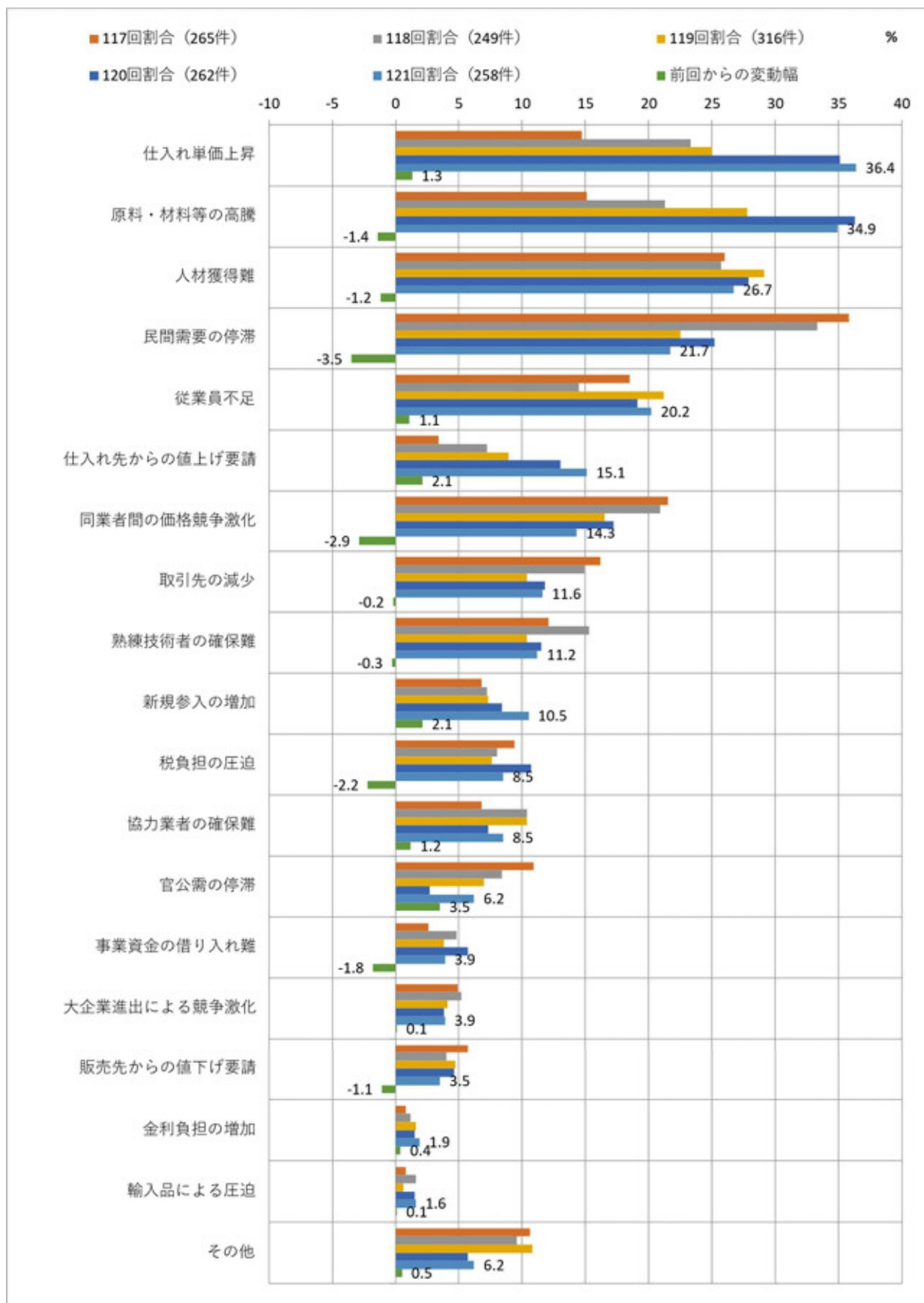
福岡地区は新規受注DIが好転していますが、利益DIは悪化しています。北九州地区、筑豊地区及び県南地区では利益DIはマイナス域ですが改善しています。

	第121回	景況件数	景況DI	売上DI	利益DI	受注DI	次期予想DI	件単位
	クロス回答数		252(-4)	253(-4)	251(-8)	252(-4)	257(0)	
	全体	259	-6.7(8.1)	3.6(-0.3)	-14.3(-3.5)	0.4(4.3)	10.5(6.2)	0.4
本 社 地 区	福岡地区	165	-6.9(5.3)	3.1(-4.4)	-15.2(-8.4)	1.3(3.3)	12.8(4.7)	0.6
	北九州地区	40	-25.6(6.9)	-2.6(12.4)	-30.8(10.7)	0(29.3)	10.3(7.7)	2.5
	筑豊地区	32	-3.1(23.2)	0(5.1)	-3.1(2)	-12.9(-7.5)	-9.4(3.4)	3.1
	県南地区	18	16.7(9.3)	5.6(-1.9)	-5.6(1.9)	-5.6(-20.4)	11.1(3.4)	5.6
	福岡県外	4	50(25)	100(0)	50(-10)	100(40)	75(55)	25.0

【経営上の問題点】

● “原材料の高騰”と“仕入単価上昇”が2期連続トップに

“原材料の高騰”や“仕入単価上昇”が、2期連続で経営上の問題点の上位を占めています。“仕入れ先からの値上げ要請”も回を追うごとに高くなっています。コロナ禍で高まっていた“民間需要の停滞”は減少傾向にあります。



経営上の問題点を業種別に見ると、
 製造業（消費財）では「値上げ要請」が上位の問題点として浮上しています。また、「人材獲得難」は低くなっています。
 建設業では「協力業者の確保難」が共通の問題点として挙がっています。
 商業・流通業では「値上げ要請」や「価格競争激化」が上位の問題点となっています。

業種別の経営上の問題点									
%	全体	製造業 (生産財)	製造業 (消費財)	建設業 (建築)	建設業 (土木)	建設業 (設備)	商業・流通業	サービス業 (対事業所)	サービス業 (対個人)
仕入れ単価上昇	36.4	31.6	47.1	53.1	25.0	75.0	57.1	18.3	34.4
原料・材料等の高騰	34.9	73.7	76.5	50.0	50.0	25.0	35.7	17.1	28.1
人材獲得難	26.7	21.1	5.9	21.9	50.0	8.3	28.6	26.8	37.5
民間需要の停滞	21.7	26.3	23.5	12.5	0.0	16.7	14.3	25.6	25.0
従業員不足	20.2	15.8	0.0	28.1	0.0	33.3	14.3	22.0	21.9
仕入れ先からの値上げ要請	15.1	5.3	47.1	15.6	0.0	8.3	21.4	12.2	12.5
同業者間の価格競争激化	14.3	15.8	11.8	12.5	0.0	8.3	28.6	15.9	9.4
取引先の減少	11.6	10.5	11.8	12.5	0.0	0.0	14.3	15.9	7.8
熟練技術者の確保難	11.2	15.8	17.6	15.6	50.0	8.3	0.0	9.8	10.9
新規参入の増加	10.5	5.3	0.0	6.3	0.0	0.0	10.7	12.2	17.2
税負担の圧迫	8.5	5.3	0.0	6.3	0.0	25.0	7.1	11.0	7.8
協力業者の確保難	8.5	10.5	5.9	21.9	25.0	16.7	0.0	8.5	3.1
官公需の停滞	6.2	21.1	0.0	0.0	25.0	0.0	3.6	12.2	0.0
事業資金の借り入れ難	3.9	0.0	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	4.9	7.8
大企業進出による競争激化	3.9	0.0	5.9	0.0	0.0	0.0	14.3	3.7	3.1
販売先からの値下げ要請	3.5	0.0	11.8	9.4	0.0	0.0	3.6	3.7	0.0
金利負担の増加	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.6	3.7	1.6
輸入品による圧迫	1.6	5.3	0.0	3.1	0.0	0.0	3.6	1.2	0.0
その他	6.2	0.0	0.0	3.1	25.0	16.7	3.6	7.3	7.8

各業種別回答数に対するパーセント
 色付きセルは業種別の上位五項目

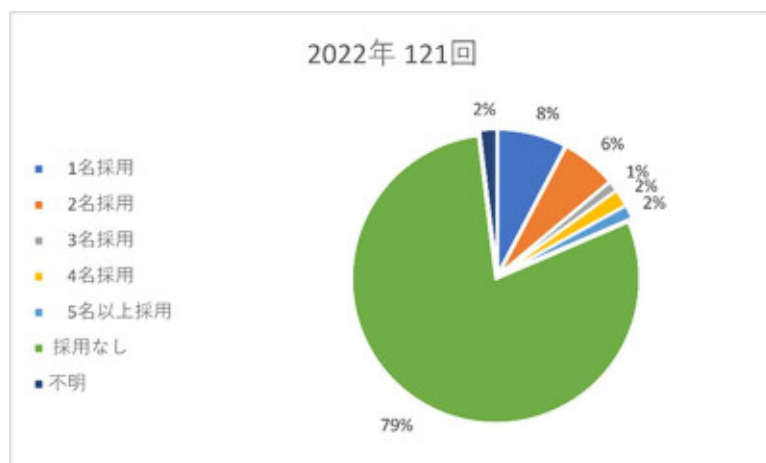
【資金繰りについて】

	資金繰り	第120回DI	13.0	第121回DI	12.8	-0.2
No.	カテゴリ	件数	(除不)%	件数	(除不)%	構成比増減
1	余裕あり	45	17.7	49	19.1	1.4
2	やや余裕あり	53	20.9	49	19.1	-1.8
3	普通	91	35.8	93	36.3	0.5
4	やや窮屈	47	18.5	49	19.1	0.6
5	窮屈	18	7.1	16	6.3	-0.8
	不明	10	0	3	0	0.0
	サンプル数 (%ベース)	264	254	259	256	2

資金繰りについては前回の調査と変わらず25%の企業が窮屈だと感じている結果になりました。

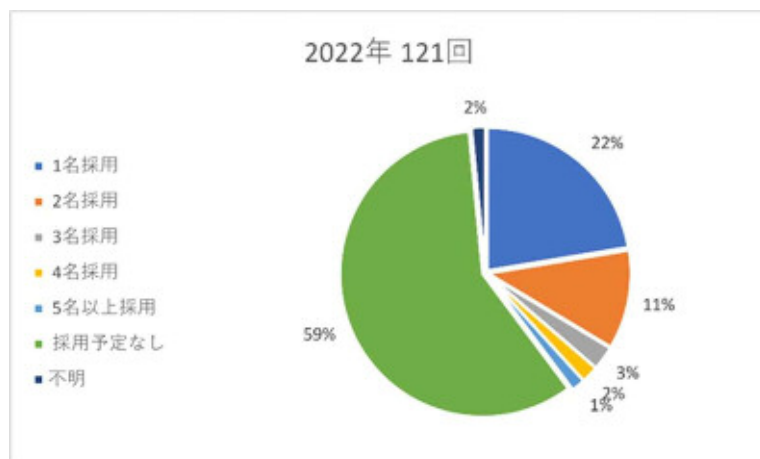
【新卒採用について】

2022年4月入社の新卒採用



前回調査した第117回（2021年4～6月期）と比べると「採用なし」の割合が増加しています。また、全体的に採用人数も減少しています。

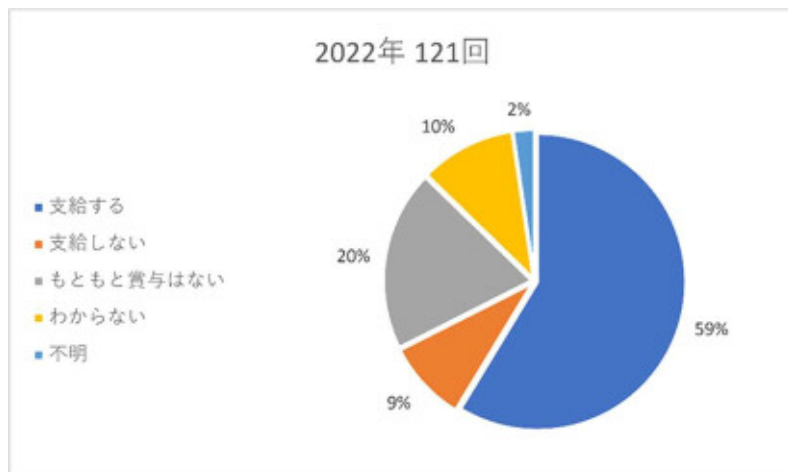
来年度の採用予定



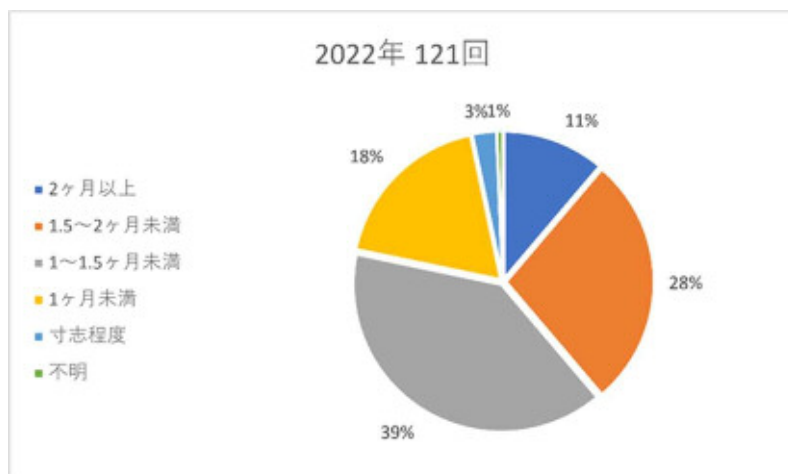
来年度の採用予定の調査では「1名採用」の割合が増加していますが、複数名採用の割合が減少しており、採用に消極的になっています。

【夏の賞与について】

賞与予定



支給基準



夏の賞与に関する調査では「支給する」の割合が減少し「支給しない」の割合が増加しました。賞与を支給する企業の基準を見ると「1~2ヶ月以上」の割合が上昇するなど、支給額は全体的に上昇していることが分かります。

【賃上げについて】

2022年度の賃上げについて

18.賃上げ税制改正後の2022年度賃上げについて		(S A)		
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	昨年と連続して賃上げする(した)	120	46.3	48.2
2	昨年はしなかったが今年は賃上げする(した)	19	7.3	7.6
3	昨年は賃上げしたが今年は賃上げしない	18	6.9	7.2
4	昨年・今年連続して賃上げしない	41	15.8	16.5
5	わからない	51	19.7	20.5
6	不明	10	3.9	
	サンプル数 (%ベース)	259	100	249

賃上げについては「賃上げする(した)」が半数以上となっています。

しかし2割の企業は「賃上げしない」と回答しています。

賃上げの方法

19.賃上げの方法		(S A)		
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	月額給与で賃上げ	108	77.7	77.7
2	賞与(一時金)で賃上げ	5	3.6	3.6
3	月額給与・賞与の両方で賃上げ	23	16.5	16.5
4	その他	3	2.2	2.2
5	不明	0	0	
サンプル数(%へ-ス)		139	100	139

月額給与の上昇率

20. 賃上げの方法		(S A)		
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	～1%アップ	24	18.3	18.5
2	1～2%アップ	39	29.8	30
3	2～3%アップ	35	26.7	26.9
4	3%以上アップ	32	24.4	24.6
	不明	1	0.8	
サンプル数(%へ-ス)		131	100	130

【インボイス制度の影響について】

21. インボイス制度の影響		(M A)		
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	人件費増加	24	9.3	9.3
2	事務作業の煩雑化	96	37.1	37.4
3	取引先の変更	33	12.7	12.8
4	受注量の減少	9	3.5	3.5
5	受注価格の低下	7	2.7	2.7
6	影響はない	52	20.1	20.2
7	わからない	79	30.5	30.7
8	その他	12	4.6	4.7
	不明	2	0.8	
サンプル数(%へ-ス)		259	100	257

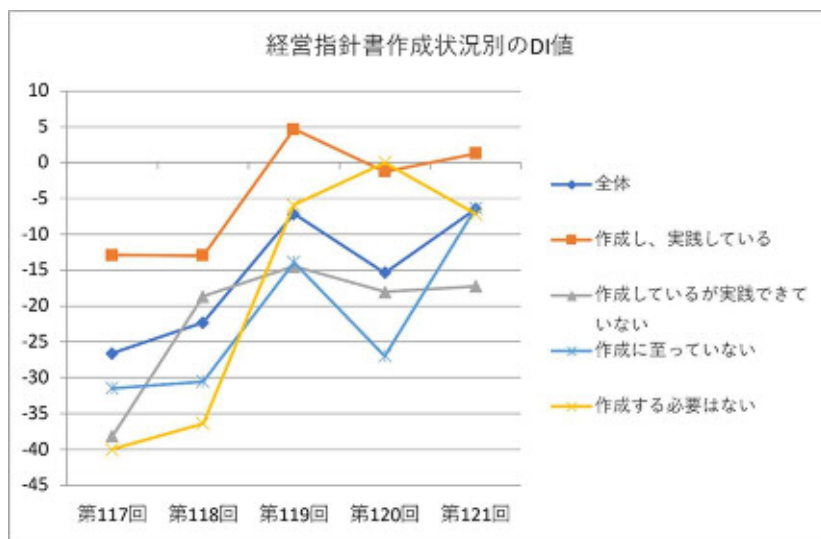
インボイス制度の影響については「事務作業の煩雑化」がもっとも多い影響となりました。「わからない」の回答が3割となり、会としての周知も求められる結果となりました。

【経営指針の作成と実践】

経営指針書の作成と実践		第120回		第121回		増減
No.	カテゴリ	件数	(除不)%	件数	(除不)%	
1	作成し実践している	84	32.3	85	33.6	1.3
2	作成しているが実践なし	61	23.5	59	23.3	-0.2
3	作成に至っていない	101	38.8	95	37.5	-1.3
4	作成する必要はない	14	5.4	14	5.5	0.1
	不明	4	0	6	0	
	サンプル数 (%ベース)	264	260	259	253	-7

23.経営指針書の検証について (S A)				
No.	カテゴリ	件数	(除不)%	(全体)%
1	毎月検証している	35	40.7	13.5
2	毎月ではないが検証している	32	37.2	12.4
3	年に1回は検証している	14	16.3	5.4
4	全く検証していない	5	5.8	1.9
	不明	173		66.8
	サンプル数 (%ベース)	259	86	100

<景況感と経営指針書の作成状況のクロス分析>



経営指針書の作成と実践状況を見ると、「作成し実践している」と回答した企業の割合は増加しています。経営指針書の検証状況では、「作成し実践している」と回答した企業の景況感はプラス域となりました。「作成に至っていない」と回答した企業は浮沈を繰り返しています。

【中小企業家の声】

景況理由

5. 今期景況判断	1. 業種	2. 従業員数	3. 本社所在地	9. 景況判断理由	
1	非常に良い	製造業(生産財)	11名~20名	筑豊	業界が活況のため
2	非常に良い	サービス業(対事業所)	0名~5名	福岡	コロナの影響で仕事が増えた。
3	非常に良い	サービス業(対個人)	0名~5名	福岡	不動産業界(土地売買)の活況のため。
4	非常に良い	サービス業(対個人)	6名~10名	福岡	受注が急回復
5	非常に良い	サービス業(対個人)	21名~30名	福岡	業界全体が好調なのに加え、キャンペーンを実施し、5月は昨年比130%だったので、よくなった。
6	よい	製造業(生産財)	0名~5名	県南	新規取引と開発商品の受注
7	よい	製造業(生産財)	6名~10名	筑豊	2021年度が悪すぎた。今、従来の売上に戻りつつある。
8	よい	製造業(生産財)	11名~20名	北九州	突発受注の発生
9	よい	製造業(生産財)	51名~100名	県南	新規獲得営業活動が実を結んでいるものの、資源高・原燃費高により、経費が高騰している為。
10	よい	製造業(生産財)	100名以上	県南	国の予算縮減につき
11	よい	製造業(消費財)	0名~5名	福岡	原材料費の上昇があります。
12	よい	製造業(消費財)	31名~50名	福岡	競合他社が潤りつつあり、残存者利益として受注増がある。しかし、相次ぐ原料資材の上昇で利益が圧迫されている。つまり売上増、利益減という状況、自社の値上げ交渉が追いつかない。
13	よい	建設業(建築)	0名~5名	福岡	コロナがあけて、建築系の動きが活発。
14	よい	建設業(建築)	0名~5名	福岡県外	コソコソ SNS や HP での告知を継続してきたから、新規が増えてきた
15	よい	建設業(建築)	6名~10名	県南	新築現場が動き始めた為。
16	よい	建設業(設備)	0名~5名	福岡	公共工事の早期発注があった為
17	よい	建設業(設備)	6名~10名	福岡	公共工事受注増
18	よい	商業・流通業	0名~5名	福岡	ウィズコロナになって来た
19	よい	商業・流通業	0名~5名	県南	店舗開設による新規客の増加
20	よい	サービス業(対事業所)	0名~5名	福岡	新規サービス開始
21	よい	サービス業(対事業所)	0名~5名	福岡	コロナの対策期間がなくなり、通常とほぼ同じ受注状況になりつつある
22	よい	サービス業(対事業所)	0名~5名	福岡	既存顧客のリピートと新規顧客の受注が重なったため
23	よい	サービス業(対事業所)	0名~5名	福岡県外	日々の無料相談と丁寧な応対を心掛けていること
24	よい	サービス業(対事業所)	6名~10名	福岡	コロナの減少傾向
25	よい	サービス業(対事業所)	6名~10名	福岡	取引先からの紹介
26	よい	サービス業(対事業所)	6名~10名	福岡	GOTOトラベル業務など特需があった
27	よい	サービス業(対事業所)	6名~10名	福岡	新規受注を絞って時間を作り、既受注案件を処理したため。
28	よい	サービス業(対事業所)	21名~30名	県南	地域の建設需要がある
29	よい	サービス業(対事業所)	100名以上	福岡	新規営業活動の結果です
30	よい	サービス業(対事業所)	100名以上	福岡	営業活動を恒常的に行っているため
31	よい	サービス業(対個人)	0名~5名	福岡	大型案件の受託。
32	よい	サービス業(対個人)	0名~5名	福岡	長期にわたって対応してきた案件がようやく結果として売上に繋がった。
33	よい	サービス業(対個人)	0名~5名	福岡	継続的な相談が増減してるため
34	よい	サービス業(対個人)	21名~30名	筑豊	営業活動による利用者の増加。
35	よい	サービス業(対個人)	31名~50名	筑豊	順調に成長、ただし地域の同業種の衰退から顧客の流入が進んでいると思われる
36	よい	サービス業(対個人)	100名以上	北九州	事業所を広げたことと、PDCAがうまく回っている。人財育成の結果、成果が出ている。
37	よい	サービス業(対個人)	100名以上	北九州	福祉事業がメインの為、顧客や職員にコロナ感染者が発生しない限り影響は受けづらいため
38	普通	製造業(生産財)	0名~5名	福岡	新規受注は増えているが、上市までには期間を要するため
39	普通	製造業(生産財)	0名~5名	北九州	元請自体の受注が減った為と思われます。
40	普通	製造業(生産財)	6名~10名	福岡	例年通り、特に変わったことはない
41	普通	製造業(消費財)	11名~20名	福岡	民需停滞
42	普通	製造業(消費財)	11名~20名	福岡	仕入原料の値上がり。
43	普通	製造業(消費財)	21名~30名	福岡	新規案件が増えたこと。仕事量が戻ったこと。
44	普通	製造業(消費財)	21名~30名	福岡	コロナの緩和策により作業量は戻りつつあるが、原材料費の値上げにより価格転嫁が出来ていないために利益率に影響を及ぼす。
45	普通	建設業(建築)	0名~5名	福岡	受注先の減少。
46	普通	建設業(建築)	0名~5名	福岡	デベロッパーが動き出した
47	普通	建設業(建築)	0名~5名	福岡	スタッフの減少資材価格の高騰
48	普通	建設業(建築)	0名~5名	北九州	受注を増やした。
49	普通	建設業(建築)	0名~5名	北九州	不動産からの入退去工事が例年より減少したと思われます。
50	普通	建設業(建築)	6名~10名	福岡	業界の流れ、年度末までに集中する。
51	普通	建設業(建築)	6名~10名	福岡	コロナの影響でのダウンと新規事業の顧客開拓があり、トータルでは横ばいとなっている
52	普通	建設業(建築)	6名~10名	北九州	コロナ禍で仕事が減っていたが、少し受注が増えている。

53	普通	建設業(建築)	11名～20名	福岡	前年が良かったため比較すると減少した
54	普通	建設業(建築)	11名～20名	福岡	コロナと材料の高騰の影響で投資建築物が減少し新築が減って改修工事への変更も多い
55	普通	建設業(建築)	21名～30名	福岡	受注残の消化と、先伸ばしすることのリスクを伝えることが出来たからかも
56	普通	建設業(建築)	21名～30名	福岡	前年同期は、コロナの影響により新規受注が少なかったため
57	普通	建設業(建築)	31名～50名	福岡	コロナ禍でストップしていた案件が動きだした
58	普通	建設業(建築)	51名～100名	福岡	ウッドショックによる原価アップや資材原価アップ
59	普通	建設業(土木)	0名～5名	福岡	例年4月は仕事が少ない
60	普通	建設業(土木)	11名～20名	福岡	例年の年度明け工事発注の減少の為
61	普通	建設業(設備)	0名～5名	北九州	ネットからの問い合わせが増えた為
62	普通	建設業(設備)	0名～5名	県南	例年、今の時期は売り上げが停滞します。
63	普通	建設業(設備)	6名～10名	福岡	材料の高騰に連れ、利益が減少した
64	普通	建設業(設備)	6名～10名	福岡	保守管理業務で安定している。
65	普通	建設業(設備)	21名～30名	県南	大型物件の受注も含め計画通りの為
66	普通	建設業(設備)	31名～50名	筑豊	弊社にとっての大型物件受注がなく、安定的売上のメンテナンスや会費制の記帳代行のみの売上に基づいているから。
67	普通	商業・流通業	0名～5名	福岡	展示会での出展
68	普通	商業・流通業	0名～5名	県南	2021年は5・6月にコロナの影響が大きかったので、今年はこの時期自粛要請などもなくなり需要が戻りつつあると感じる。
69	普通	商業・流通業	6名～10名	福岡	仕入れ商品の値上げにより、売値値上げの顧客買い控えが発生、安価商品の移行スペックダウンが発生
70	普通	商業・流通業	11名～20名	福岡	市場は変わらず良くはないですが、良くするための様々な取り組みを行った結果、少しずつ新規受注が増えだした。
71	普通	商業・流通業	11名～20名	福岡	①弊社は営業会社になっており、稼働日数によって受注件数、売り上げの増減がある為、本年度の5月は10連休だった為、昨年対比で若干ではありますが、売り上げ、受注件数が減少傾向にあります。②現在世界的な半導体の不足により、弊社LED事業部に影響を及ぼしております。受注は頂いたものの発注後、ものが届かず工事待ちの状態にあります。6月は一気に物が入ってくるため工事がメインになってしまい、新規開拓ができず悪循環です。
72	普通	商業・流通業	31名～50名	福岡	資材や各手数料などの値上げのため、利益圧縮、また食品などの値上げなどで手控え感がある
73	普通	商業・流通業	31名～50名	福岡	顧客が補助金を活用して当社から購入した大型機械の納品が4月にあったので。
74	普通	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡	設計完了後の売り上げとなるので、昨年末受注分のそれが伸びている。8、はそう変化ない。
75	普通	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡	ようやくコロナが収まってきたので、遅れて影響はあらわれてくると思います。
76	普通	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡	景気に左右されないため
77	普通	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡	コロナが落ち着きそうで徐々に経済活動が活発となってきた
78	普通	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡	昨年は入札で受注できた単発の商品があったが、今年は無かった。それを除けば、売上、粗利益ともほぼ同じ。
79	普通	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡	新規受注の減少。
80	普通	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡	人の紹介によって新規が増えました。
81	普通	サービス業(対事業所)	0名～5名	北九州	新型コロナの影響で、電子部品不足により仕入れ納期が長くなり(3か月等)受注しづらくなっている。
82	普通	サービス業(対事業所)	11名～20名	福岡	M&A、経営統合案件が動き出した
83	普通	サービス業(対事業所)	11名～20名	福岡	前年度はコロナ禍の影響で求人需要は低迷が続いていた。今年3月に入って、売上も計画通りに確保できる状態となった。ただ、前前年度比60%と販売ボリュームはまだ厳しい。
84	普通	サービス業(対事業所)	11名～20名	福岡	1月から4月までは年度末の工事が多く、資材の販売が大幅に増えたが5月にはその工事も終わったので売り上げも減少した。
85	普通	サービス業(対事業所)	100名以上	福岡	売上・利益計画どおり
86	普通	サービス業(対個人)	0名～5名	福岡	コロナで2021年度がほぼ営業出来ていなかった為。
87	普通	サービス業(対個人)	0名～5名	福岡	新規のお客様が増えた。
88	普通	サービス業(対個人)	0名～5名	福岡	営業戦略の成果
89	普通	サービス業(対個人)	0名～5名	北九州	コロナで店を閉めていたが、開けられるようになったため。
90	普通	サービス業(対個人)	6名～10名	福岡	現状維持の努力をしたため
91	普通	サービス業(対個人)	6名～10名	福岡	まん延防止処置も解除され、経済活動も動きがある
92	普通	サービス業(対個人)	6名～10名	北九州	まだまだコロナの終息とはいっていないので
93	普通	サービス業(対個人)	6名～10名	筑豊	値上げ、協力金など。
94	普通	サービス業(対個人)	31名～50名	福岡	特になし
95	普通	サービス業(対個人)	51名～100名	福岡	材料費やガソリンなどの経費が増え、売上は増えたが利益は昨年と同様。
96	普通	サービス業(対個人)	51名～100名	福岡	GWにコロナのダメージが無かったから。
97	悪い	製造業(生産財)	0名～5名	県南	5月から仕事量が減っている。業界全体で減っている印象である。半導体不足で休業の影響があると思われる。
98	悪い	製造業(生産財)	21名～30名	福岡	コロナ禍での前期下半期の営業活動不足
99	悪い	製造業(生産財)	51名～100名	福岡	まだまだ、コロナ禍の影響が出て、公共事業の復活までは行っておりません
100	悪い	製造業(消費財)	0名～5名	福岡	円安、原材料費上昇。
101	悪い	製造業(消費財)	6名～10名	福岡	原価高騰、為替円安傾向。
102	悪い	製造業(消費財)	11名～20名	福岡	コロナ禍で悪くなったが元には戻らないから
103	悪い	製造業(消費財)	31名～50名	福岡	計画を立てた営業活動を続けていることによる。

104	悪い	建設業(建築)	0名~5名	福岡	半導体の不足及び材料・ガソリン等の高騰
105	悪い	建設業(建築)	6名~10名	福岡	資材入荷遅れによる工事延期・他
106	悪い	建設業(設備)	0名~5名	北九州	メンテ業のため。
107	悪い	商業・流通業	0名~5名	福岡	コロナウイルスの影響
108	悪い	商業・流通業	0名~5名	福岡	原料不足と値上げ、得意先の減少。
109	悪い	商業・流通業	0名~5名	筑豊	コロナ感染症の影響
110	悪い	商業・流通業	6名~10名	筑豊	原材料高騰が長引き収益を圧迫している状態が続いている
111	悪い	商業・流通業	51名~100名	筑豊	様々な物価高騰による消費活動の低下
112	悪い	商業・流通業	51名~100名	県南	前年度は、コロナの影響により、売上げが下がっていたが、燃料コストの増により、利益もマイナスとなった。
113	悪い	サービス業(対事業所)	0名~5名	福岡	弊社の創業は2021年8月でして、創業前の年月との比較は「横這い」と回答させて頂いております。
114	悪い	サービス業(対事業所)	0名~5名	福岡	グループ会社の業況が良くないので。
115	悪い	サービス業(対事業所)	0名~5名	福岡	業界全体の落ち込み
116	悪い	サービス業(対事業所)	0名~5名	福岡	大手企業からの受注減
117	悪い	サービス業(対事業所)	0名~5名	福岡	人手不足により営業活動が十分に出来なかった。
118	悪い	サービス業(対事業所)	6名~10名	福岡	コロナで営業に行けなかった。
119	悪い	サービス業(対事業所)	6名~10名	福岡	マーケットの需給
120	悪い	サービス業(対事業所)	6名~10名	北九州	努力不足
121	悪い	サービス業(対事業所)	11名~20名	北九州	資材不足、コロナとロシア・ウクライナ戦争による物流の停滞
122	悪い	サービス業(対事業所)	11名~20名	県南	廃業
123	悪い	サービス業(対事業所)	51名~100名	福岡	人件費の上昇、コロナによる一部事業の受注が少ない状況が続いている。新規事業がまだ立ち上がっていない。
124	悪い	サービス業(対事業所)	51名~100名	北九州	コロナの影響で大手取引先の受注が大幅に減少した。その穴埋めが出来なかった。
125	悪い	サービス業(対事業所)	100名以上	県南	資器材の納入遅れによりさぎよが出来ない。価格競争
126	悪い	サービス業(対個人)	0名~5名	福岡	コロナ禍が少し落ち着いてきたため
127	悪い	サービス業(対個人)	0名~5名	北九州	コロナの影響があり客足が延びていないため
128	悪い	サービス業(対個人)	0名~5名	北九州	コロナによる影響が未だあります。
129	悪い	サービス業(対個人)	0名~5名	筑豊	顧客との接触回数の減少
130	悪い	サービス業(対個人)	0名~5名	福岡県外	緊急事態宣言後、県外来客者の一部増加によるもの
131	悪い	サービス業(対個人)	6名~10名	福岡	まだ客足が悪い。従業員の離職の為。
132	悪い	サービス業(対個人)	6名~10名	福岡	コロナでお客様は戻ってこない。
133	悪い	サービス業(対個人)	21名~30名	福岡	競合他社の台頭。
134	悪い	サービス業(対個人)	31名~50名	福岡	企業努力不足
135	非常に悪い	製造業(生産財)	0名~5名	北九州	客先からの受注減少に加え、外注製作による不具合多発&納期遅延。新規開拓等営業に注力はしているが、外注先の品質の悪さより外注先を変更して再製作中(営業に注力できない状況)
136	非常に悪い	製造業(消費財)	0名~5名	福岡	コロナによる協力施設の製造停止のため
137	非常に悪い	サービス業(対事業所)	21名~30名	福岡	営業力
138	非常に悪い	サービス業(対個人)	0名~5名	福岡	蔓延防止等が解除されても、まだコロナに警戒感が会社等にあり、客足が伸びない為。
139	非常に悪い	サービス業(対個人)	0名~5名	福岡	コロナの影響から未だ回復していない
140	非常に悪い	サービス業(対個人)	6名~10名	福岡	従業員の退職、コロナ、中洲地区の客数減少。
141	-	サービス業(対事業所)	0名~5名	福岡	新規顧客の獲得が出来ていないため。
142	-	サービス業(対事業所)	11名~20名	福岡	仕入原価の高騰、コロナ制約等による活動制限

経営上の問題点

5.今期景況判断	1.業種	2.従業員数	3.本社所在地	13.上記経営上の問題点	
1	非常に良い	製造業(生産財)	11名~20名	筑豊地区	原材料費の高騰が止まらず、価格設定で混乱している。
2	非常に良い	サービス業(対事業所)	0名~5名	福岡地区	IT化により自分で書類作成がしやすくなり、民間需要が減ることが予想される。
3	よい	製造業(生産財)	6名~10名	筑豊地区	見積もり有効期限を最大で2週間程度と書かざるを得ない。見積もりを出しても決まるのが先になるので、それからまた値段交渉になる。
4	よい	製造業(生産財)	51名~100名	県南地区	ニッケル・銅・クロム・鉄などの地金や金属塩が高騰または乱高下している。電気代は、10月から16%以上値上げすると、九州電力からの通達あり。
5	よい	製造業(生産財)	100名以上	県南地区	当社主力部品は、海外からの輸入であり、円安の影響も大きい。また、多角化戦略が機能しておらず、経営リソースの再配分が必要と考えている。
6	よい	製造業(消費財)	0名~5名	福岡地区	木材関連の商品不足と価格上昇。
7	よい	建設業(建築)	0名~5名	福岡地区	建築業をやりたい人が少ない。
8	よい	建設業(建築)	0名~5名	福岡県外	材料や資材がどんどん上がってきているが、急激に単価に反映できていない
9	よい	建設業(建築)	6名~10名	北九州地区	全ての材料、工賃が上がってきている。高齢化が進み協力業者の確保が困難になっている。
10	よい	建設業(設備)	6名~10名	福岡地区	従業員高齢化
11	よい	商業・流通業	0名~5名	県南地区	商材に限らず工賃や包装資材並びに送料の値上げも有り、全てが出揃った状況

12	よい	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡地区	交通費、消耗品などの値段が増加傾向
13	よい	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡地区	需要の増加が見込めないことや販促力不足による
14	よい	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡県外	専門的な知識をもった人材の確保が難しい
15	よい	サービス業(対事業所)	6名～10名	福岡地区	まだまだコロナの影響が続くと予想される。
16	よい	サービス業(対事業所)	6名～10名	福岡地区	派遣事業においてスタッフ登録数の減少
17	よい	サービス業(対事業所)	100名以上	福岡地区	昔と比較して車好きの若者が減っている為、整備作業員の獲得に苦慮しています。
18	よい	サービス業(対事業所)	100名以上	福岡地区	物流業界は人手不足が今後も厳しく続きます、人材採用と定着を強化することが必要です。その為にも機械化・自動化・無人化の将来への投資がポイントなるでしょう。
19	よい	サービス業(対個人)	0名～5名	福岡地区	設備の充実。
20	よい	サービス業(対個人)	0名～5名	福岡地区	個人事業主のため、依頼先が偏っている
21	よい	サービス業(対個人)	31名～50名	筑豊地区	従業員の応募がない。仕入先の値上げ要請が相次いでいる→受け入れざるを得ない
22	よい	サービス業(対個人)	100名以上	北九州地区	さらなる人財育成と財務体質の強化
23	よい	サービス業(対個人)	100名以上	北九州地区	急激な事業拡大を行ってきたため、借入れが多くキャッシュフローが困窮している。また、物価上昇に対する販売価格の転嫁が不可能の為適正利益の確保が厳しく、そのため雇用条件を好転させることができず採用が厳しい。
24	普通	製造業(生産財)	0名～5名	福岡地区	新しい商品が売れると、類似品が多数出てくるため、大手の製造メーカーに価格で負けてしまう。
25	普通	製造業(生産財)	0名～5名	北九州地区	加工工具の単価の上昇や、材料単価の高騰。また生産性を越えた受注量がある為、業務負担が増えました。
26	普通	製造業(生産財)	6名～10名	福岡地区	収益と人材投資のバランスがあまりよくない、改善すべき点と思う
27	普通	製造業(消費財)	11名～20名	福岡地区	これまでの営業の成果
28	普通	製造業(消費財)	21名～30名	福岡地区	材料の仕入れ値が上がっているため、単価アップの要請はしている。新規見積もりに関しては今までより値上げして提出している。値段が上がる部分もあるが、なかなか上がらないところもある。単価が上がることを言うと、他社でまだ値段を上げていない所に仕事を出す動きもある。
29	普通	建設業(建築)	0名～5名	福岡地区	材料が不足して原価が上がった
30	普通	建設業(建築)	0名～5名	北九州地区	仕入れ単価が上昇しても受注金額は変わらない。
31	普通	建設業(建築)	6名～10名	福岡地区	社員教育
32	普通	建設業(建築)	11名～20名	福岡地区	新卒以外に中途採用もやっているが、経験者の応募がここ数年全く無い。
33	普通	建設業(建築)	11名～20名	福岡地区	世界情勢による原油高や物流困難による建築資材の高騰と機器の供給不足に消費者のマインドが低下している
34	普通	建設業(建築)	21名～30名	福岡地区	熟練技術者を確保するための休日増や給与アップなどのコストの増加や消費税アップによる負担の増加など、経営を圧迫する要因が増えている。
35	普通	建設業(土木)	11名～20名	福岡地区	新卒採用、毎年苦労している。
36	普通	建設業(設備)	0名～5名	県南地区	仕入れ資材が高騰(10～15%)している。
37	普通	建設業(設備)	21名～30名	県南地区	外注先不足による受注の懸念
38	普通	建設業(設備)	31名～50名	筑豊地区	民間需要の停滞の中、仕入れ単価や人件費上昇で見積もり積算価格の上昇となり、新規受注に際して他者との駆け引きが厳しくなっている。結果、受注に際して、粗利益を下げての受注をせざるを得ない状況であり、今後の利益計画が厳しくなることが懸念される。
39	普通	商業・流通業	0名～5名	福岡地区	なし
40	普通	商業・流通業	6名～10名	福岡地区	ナフサ関連商品が過去経験したことがない、回数、幅(30～40%)アップにより利益額が減少している。
41	普通	商業・流通業	11名～20名	福岡地区	アルミ不足による仕入れ単価の上昇
42	普通	商業・流通業	11名～20名	福岡地区	新たな従業員の雇用ができない。これは、現在弊社の受け入れ態勢に問題があり、入社して下さったとしても育成、教育、マネジメントが100%できる状態ではない。改善策を現在模索中
43	普通	商業・流通業	31名～50名	福岡地区	代金収納機関から30%余の値上げが確定、輸送日、送料などもあがる模様
44	普通	商業・流通業	31名～50名	福岡地区	あらゆる商品が値上げの状況になっており、顧客への転嫁に時間が掛かる。また商品自体の納期が全体的に遅れている。
45	普通	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡地区	個人でやっているため、業務量に限界があり、業務を効率化していく必要がある。
46	普通	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡地区	なかなか良い人が採用できない
47	普通	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡地区	公募案件が減少している。
48	普通	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡地区	競争力の低下による売上及び利益の減少
49	普通	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡地区	仕入業者さんの5月、6月の値上げ報告がありましたのと、整備工場様の廃業等があり、苦戦しています。
50	普通	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡地区	新規受注への努力が足りなかった。
51	普通	サービス業(対事業所)	0名～5名	北九州地区	電子部品不足などにより仕入れ価格が軒並み上昇している。
52	普通	サービス業(対事業所)	11名～20名	福岡地区	営業会社がM&A業界参入が続き、信頼性が低下している(ろくでもない業界になってきている)
53	普通	サービス業(対事業所)	11名～20名	福岡地区	一昨年、相次ぐ緊急事態で営業にならず、借入れで対応した。1年が経過して、借入枠一杯に借金をしたため、現在、追加融資が受けられない状態になっている。
54	普通	サービス業(対事業所)	11名～20名	福岡地区	ベテラン・リーダー層が間に合っておらず中途採用を行っていますが業界全体が人手不足となっております採用に至っていません。リモート化が進んだことに

					より特に関東圏の企業が全国に採用を広めていたり、フリーランス化を推し進めていたりするため良い人材と巡り合いにくい状況です。
55	普通	サービス業(対事業所)	11名～20名	福岡地区	働き方改革を成功に導くことができれば、従業員のワークライフバランスを改善するだけでなく、企業側にも生産性の向上といったメリットをもたらすと考えるが、とはいえ労務制度の変更は、業務のあり方に根本的な影響を与えるため、クリアしなければならない課題や問題点がある。
56	普通	サービス業(対事業所)	11名～20名	福岡地区	輸入製品が多いのでかなり厳しい、物の入りも悪いのである時に大量に仕入れる必要があるので続くと厳しい。求人も募集しているが応募がない。
57	普通	サービス業(対個人)	0名～5名	福岡地区	人手不足、ただ今後はどうなるかも分からないので積極的採用が出来ない状況。
58	普通	サービス業(対個人)	0名～5名	福岡地区	買い替え購入の早目の提案と納期までの代車の増車。
59	普通	サービス業(対個人)	0名～5名	福岡地区	過当競争になりつつある。
60	普通	サービス業(対個人)	6名～10名	福岡地区	高齢者の認知症等発症に伴い、フォロー体制に人員を割かれるため、営業活動の増加をどう確保するか
61	普通	サービス業(対個人)	6名～10名	福岡地区	原料や仕入れ価格が6月から大幅にUPしたので顧客に説明し、今月から価格改定して値上げしました。
62	普通	サービス業(対個人)	6名～10名	北九州地区	小売業なので物価の上昇はダイレクトに響きます
63	普通	サービス業(対個人)	6名～10名	筑豊地区	原材料の仕入れ値高騰
64	普通	サービス業(対個人)	51名～100名	福岡地区	介護サービスは職員数で売り上げが決まる、人材確保、従業員が不足していることで新規顧客を逃している
65	普通	サービス業(対個人)	51名～100名	福岡地区	集客。
66	悪い	製造業(生産財)	0名～5名	県南地区	コロナ対応の生活から、通常に戻してほしい。インバウンドの受け入れも通常に戻してほしい。
67	悪い	製造業(生産財)	11名～20名	筑豊地区	コロナ禍の影響でイベント関連の先行きが不透明
68	悪い	製造業(生産財)	21名～30名	福岡地区	案件数が少ないうえ、原材料の価格高騰分の価格転嫁で苦勞している。民間需要の冷え込みでモノの動きが少なく、物流関連の機器設備投資がない。
69	悪い	製造業(生産財)	51名～100名	福岡地区	公共事業の停滞または、前半主義での発注を望む
70	悪い	製造業(消費財)	0名～5名	福岡地区	攻める営業でないといけないと思うが、やり方がわからない。
71	悪い	製造業(消費財)	11名～20名	福岡地区	原油価格の高騰と、ロシアのウクライナ侵攻のため、様々なコストが上がるのは避けられない。
72	悪い	製造業(消費財)	31名～50名	福岡地区	契約時に交渉するが、取引先ゼネコンへの材料価格上昇分の価格転嫁を受け入れてもらえない。⇒今後収益を圧迫される。
73	悪い	商業・流通業	0名～5名	福岡地区	円安ドル高で原材料高と加工賃の値上がり
74	悪い	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡地区	ようやく現在十数軒のお客様にプレゼンテーションをさせて頂けるようになり年末年始が楽しみな状況となりました
75	悪い	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡地区	小規模の顧客が増えると事務負担が増す・・・
76	悪い	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡地区	netの活用
77	悪い	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡地区	付加価値の高い仕事になると社長(自分)が関わることになり、生産性が上がらない。
78	悪い	サービス業(対事業所)	6名～10名	福岡地区	同業他社が低下価格でサービスを行っている
79	悪い	サービス業(対事業所)	11名～20名	県南地区	コロナ不況、資材の高騰による不況
80	悪い	サービス業(対事業所)	51名～100名	福岡地区	出生数の減少の影響から保育サービスの利用絶対数が減ってくる。新規事業でのこれまでの困ったを解決するビジネスの生み出し。サービス提供先の選択。
81	悪い	サービス業(対事業所)	100名以上	県南地区	求人募集しても応募がない
82	悪い	サービス業(対個人)	0名～5名	福岡地区	婚礼業界がコロナ禍で底冷え、取引先が1社、6月末で閉館することがきまっている。日延べ繰り延べで持ち返してきたが新規はまだまだ少人数での婚礼、写真撮影のみが多い。税金の負担も、社会保険料などで圧迫中。
83	悪い	サービス業(対個人)	0名～5名	北九州地区	福岡県保証協会がコロナによる影響があると伝えましてもコロナ対策資金を貸し渋ります。
84	悪い	サービス業(対個人)	21名～30名	福岡地区	若い人材不足。
85	非常に悪い	製造業(生産財)	0名～5名	北九州地区	ガソリン他の価格高騰、ウクライナ戦争による原材料高騰(アルミニウム他)に加え、円安による影響(電子部品の輸入単価UP)等、複合的に影響を受けている。販売先にも値上げUPを通達するも、企業によっては取り扱いをやめる企業も。
86	非常に悪い	製造業(消費財)	0名～5名	福岡地区	運転資金の面で、かなりきつい状況。
87	非常に悪い	サービス業(対個人)	6名～10名	福岡地区	5/31にて弁護士のご指導の下、破産準備に入りました。破産いたします。
88	非常に悪い	サービス業(対個人)	6名～10名	福岡地区	スタッフ不足、客単価の減少、仕入れ価格の上昇。
89	-	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡地区	予算減少の影響、ガソリン代高騰、商品値上げの影響。
90	-	サービス業(対事業所)	11名～20名	福岡地区	弊社販売形態としてBtoBを主として行っていたが、一部BtoCに切り替わっており利益確保が厳しい状態にある